

[1] 十勝総合振興局及び根室振興局管内における 自治体向け研修会

災害廃棄物の処理に係る事前の備えとして、担当職員及び関係者の知見や意識の向上、ネットワーク作りを目的とし、十勝総合振興局及び根室振興局管内の自治体の災害廃棄物処理担当者を対象とした人材育成事業を実施した。第2回、第3回ワークショップは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモート併用で実施した。

実施項目	数量
(1) 災害廃棄物処理に係る講義の実施	1回 2時間以上
(2) 災害廃棄物処理に係るワークショップの実施	3回 各3時間以上
(3) 市町村ごとの災害廃棄物処理計画骨子(案)の作成支援	一式
(4) 自治体からの相談対応	一式

新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策

検温

手指の消毒

間隔をあけた配席

定期的な換気

マスク着用

討議時フェイスシールド着用



会場出入口に配置した手指消毒用アルコール

リモート併用のグループ討議



[1] 十勝総合振興局及び根室振興局管内における自治体向け研修会

【勉強会の開催】 実施状況

災害廃棄物処理計画策定の必要性

災害が起きた直後、役所は**必ず忙しい！**
(被災者対応・避難所運営など膨大な作業)

役所内では幹部を含め全員が忙しく、大混乱

そのような状況の中

- ・仮置場をどこにするか・分別をどうするか・収集運搬をどうするか
- ・人の配置をどうするか・住民への周知をどうするか など

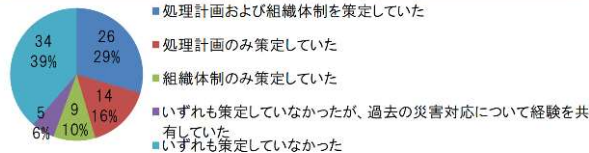
一から決めていく事は困難！

でも、ごみは待たなして出てくる！

災害時に速やかに行動するためには事前の備え
(災害廃棄物処理計画の策定)が必要

東日本大震災の教訓

発災前に、大規模災害に備えた災害廃棄物処理に関する処理計画や組織体制などを策定していましたか。



策定していた組織体制や処理計画は、今回の震災の際に機能しましたか。



出典：巨大大震災により発生する災害廃棄物の処理に自治体はどう備えるか(平成27年3月)東北地方整備局事務所

北海道版ワークシートのイメージ

- 市町村が特に検討しなければならない箇所を明示
- 北海道災害廃棄物処理計画との整合
- 振興局との連携
- 基礎的数値の推計方法は各市町村の状況に合わせて採用できるよう複数示す
- 北海道特有の事項を記載
- 必要事項を記入すれば計画案が完成する仕様

市町村災害廃棄物処理計画策定ワークシート

【北海道版】

令和2年〇月

北海道版ワークシート(Wordデータ)を提供

⇒勉強会・ワークショップを通じてワークシートを作成して頂きます

本業務のスケジュール

日程	ワークショップ内容(案)	依頼事項
第1回 2020. 12.25(金)	○対象とする災害 ○基礎的数値の推計方法 (し尿発生量及び仮設トイレ必要基数、避難所ごみ発生量、災害廃棄物発生量、廃棄物処理施設の処理可能量、仮置場必要面積) ●テーマ：仮置場について ※アンケートを実施	今回 対象とする災害 基礎的数値の推計 ⇒対象とする災害 を事務局にメール 送信
第2回 2021. 1月下旬	○問合せ事項等の情報共有 ○北海道版ワークシートの説明 【重点事項】 組織体制、協力・支援体制、住民広報、広域的な処理・処分、処理困難物、地域特性のある災害廃棄物処理 等 ●テーマ①：関係機関との連携 ●テーマ②：住民広報の方法	ワークシート全体 ⇒ワークシートを 作成し、第3回 ワークショップに 持参
第3回 2021. 2月下旬	○問合せ事項等の情報共有 ○ワークシート進捗状況を踏まえた補足説明 ●テーマ①：広域連携 ●テーマ②：処理困難物の対応	ワークシート見直し ⇒事務局にメール 送信

○：座学、●：グループ討論

第2回、第3回の座学及びグループ討論のテーマはアンケート結果により適宜変更



[1] 十勝総合振興局及び根室振興局管内における自治体向け研修会

【ワークショップの開催】 実施状況

■ 災害廃棄物発生量の推計

推計結果

(棟) × (1/棟) = (t) ...①
全壊棟数 発生原単位

(棟) × (1/棟) = (t) ...②
半壊棟数 発生原単位

(t) + (t) = (t)
① ② 災害廃棄物発生量

23



意見の整理

グルーピングした主な分類項目より災害廃棄物処理計画に記入すべき事項を整理してください。⇒10分

班名	発災後の対応	災害廃棄物処理計画に記入すべき事項
仮置場の設置・運営	住民対応	・仮置場の分別ルール ・仮置場施設に関する住民への広報内容や周知方法
組織体制	その他	
その他		

14



テーマ②自治体内の体制

自治体の連携を速やかに行うために、平時から検討しておく内容を整理して下さい。

班名 項目	自治体内の体制		平時の対策
	部署・人数	連携事項	
仮置場			
住民広報			
その他			

⇒10分

15



[1] 十勝総合振興局及び根室振興局管内における自治体向け研修会

【市町村ごとの災害廃棄物処理計画骨子(案)の作成支援】

欠席自治体には、当日の資料とビデオを送付し、内容を共有した。また、ワークショップ実施中に自治体の理解がやや不足していると感じた事項については、後日、一斉メールで補足説明を行うなどプッシュ型で作成支援を行った。

全研修終了後に自治体のワークシートが災害廃棄物骨子案の形になるよう、3回の期間を定めてワークシートの提出を依頼した。

【自治体からの相談対応】

自治体からの問合せは、メール、電話でのやり取りを基本とした。個別対応したもののうち水平展開が望ましいと考えられる事項については、一斉メールや次回座学での説明により情報共有し、管内自治体全体の理解促進を図った。

回答事項に関連する参考資料等がある場合は、自治体担当者が作業する上で速やかに必要資料を入手できるよう、参考資料名やURLを情報提供するなど、具体的に参照すべき箇所についてフォローを行った。

次回ワークショップまでの依頼事項

次回ワークショップまでの記入内容

(1)対象とする災害を決める → 決まり次第、メール送信をお願いします。

(2)基礎的数値を算出する

- ① し尿発生量・仮設トイレ必要基数
- ② 避難所ごみ発生量
- ③ 災害廃棄物発生量
- ④ 廃棄物処理施設の処理可能量
- ⑤ 仮置場必要面積

(3)上記該当部分のワークシートを作成する

- ・1編3章(1)、2編5章、2編6章(2)(4)(6)

※令和3年1月15日までに作成をお願いします。

次回ワークショップまでの依頼事項

本日説明した箇所のワークシートを作成して下さい。

本日の説明範囲
・ワークシートp3、p23-29、p31-37、p39

問合せ事項等について

項目	問合せ内容	回答	ワークシート該当章
対象とする災害	対象とする災害を何を基準に決めれば良いかわからない。	・地域防災計画に合わせる。 ・北海道災害廃棄物処理計画を参照する。 ・北海道の想定地震・地震被害想定(全道の地震被害想定調査結果)を参照する。	1編3章(1)
浸水想定範囲から水管による廃棄物量を推定したい。		・津波浸水想定区域、洪水氾濫想定区域のGISデータに基づき、面積を算出する。 ・浸水による被害種数等が記載されている資料があれば参照する。	1編3章(1) 2編6章(2)
避難所ごみの発生量推計	避難所ごみの発生原単位は、生活系ごみ/生活系ごみ+事業系ごみのどちらか。	・地域特性に合わせて使用する。	2編5章(3)

問合せ事項等について

項目	問合せ内容	回答	ワークシート該当章
焼却施設の処理可能量	災害時の焼却施設の施設稼働日数は、平時の廃棄物受入れ日数か、あるいは最大稼働できる日数か。	・最大稼働日数とする。	2編6章(2)
最終処分場の処理可能量	焼却施設を複数の自治体で使用しているため、処理可能量の計算方法が分からない。	・施設の使用状況に応じて按分する方法がある。実際には災害状況に応じて関係者間で調整する。	2編6章(2)
最終処分場の処理可能量	最終処分場の残余年数が10年未満である。処理可能量、処理フローはどうなるか。	・残余年数が10年未満の処分場は、試算対象外。フローでは、「平時の施設がトシとなり、すべての他の施設」で処理することとなる。	2編6章(2) 2編6章(4)

問合せ事項等について

(5)最終処分場の処理可能量について

最終処分場の処理可能量の推計

・算出条件に適合しない施設については、推計しない。

計算式: 最終処分場の処理可能量 = (処理可能容量 × 処理率) × 10年

災害廃棄物対策指針技術資料における算出方法

10年残余容量を処理可能容量とする方法

① 処理率
② 処理可能容量

① 処理率: 最大で40%
② 処理可能容量: 最大で40%

③ 処理可能容量: 最大で40%

④ 処理可能容量: 最大で40%

⑤ 処理可能容量: 最大で40%

⑥ 処理可能容量: 最大で40%

⑦ 処理可能容量: 最大で40%

⑧ 処理可能容量: 最大で40%

⑨ 処理可能容量: 最大で40%

⑩ 処理可能容量: 最大で40%

⑪ 処理可能容量: 最大で40%

⑫ 処理可能容量: 最大で40%

⑬ 処理可能容量: 最大で40%

⑭ 処理可能容量: 最大で40%

⑮ 処理可能容量: 最大で40%

⑯ 処理可能容量: 最大で40%

⑰ 処理可能容量: 最大で40%

⑱ 処理可能容量: 最大で40%

⑲ 処理可能容量: 最大で40%

⑳ 処理可能容量: 最大で40%

㉑ 処理可能容量: 最大で40%

㉒ 処理可能容量: 最大で40%

㉓ 処理可能容量: 最大で40%

㉔ 処理可能容量: 最大で40%

㉕ 処理可能容量: 最大で40%

㉖ 処理可能容量: 最大で40%

㉗ 処理可能容量: 最大で40%

㉘ 処理可能容量: 最大で40%

㉙ 処理可能容量: 最大で40%

㉚ 処理可能容量: 最大で40%

㉛ 処理可能容量: 最大で40%

㉜ 処理可能容量: 最大で40%

㉝ 処理可能容量: 最大で40%

㉞ 処理可能容量: 最大で40%

㉟ 処理可能容量: 最大で40%

㊱ 処理可能容量: 最大で40%

㊲ 処理可能容量: 最大で40%

㊳ 処理可能容量: 最大で40%

㊴ 処理可能容量: 最大で40%

㊵ 処理可能容量: 最大で40%

㊶ 処理可能容量: 最大で40%

㊷ 処理可能容量: 最大で40%

㊸ 処理可能容量: 最大で40%

㊹ 処理可能容量: 最大で40%

㊺ 処理可能容量: 最大で40%

㊻ 処理可能容量: 最大で40%

㊼ 処理可能容量: 最大で40%

㊽ 処理可能容量: 最大で40%

㊾ 処理可能容量: 最大で40%

㊿ 処理可能容量: 最大で40%

問い合わせ事項等について

策定済みの災害廃棄物処理計画の事例

・災害廃棄物処理計画に取組んでいる自治体全国の自治体の災害廃棄物処理計画の事例を国立環境研究所で見ることが出来る。
地域別、人口規模別に検索することができる。
https://sawtenfor.es.go.jp/pam/procet_main.html

マップから探す

一覧から探す(人口規模別)

・市内の自治体の災害廃棄物処理計画
帯広市、芽室町、広尾町の処理計画。
重要可の素案を各自治体HPで見ることが出来る。
<https://www.city.aburatsubo.akai.jp/shimikankyosyu/saisou/zyouka/saigaiakubu.html>
芽室町
https://www.memuro.net/administrator/eopnki/jyusaisekaku/kekaku/saiga_hakiko2.html
広尾町
https://www.town.hroo.jp/jyousu/kekaku/saiga_hakikubu/
芽室町(素案)
https://www.town.otofu.kekkokaiso.jp/town/2/aiel-kekaku/publiccomment/saiga_syoru_kekaku.html